取扱説明書

【初めに必ずお読み下さい】

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
※取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
※開封後すぐ、取り付け作業前に、必ず内容部品の破損、部品表にて梱包物の数量等を確認して下さい。

安全に関する表示	
警告	指示に従わない場合、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの。
注意	指示に従わない場合、傷害に至る可能性物的損害の発生が想定されるもの。
高温注意	表記の注意を告げる物です。

警告	● 本製品は、適応車両、目的用途以外の使い方で使用しないで下さい。サーキット走行やジムカーナなどでの使用は想定しておりません。 ● 本製品の取り付けは、整備資格のある方、または車両整備の基礎知識と経験のある方が行って下さい。取り扱い不注意、取り付け不良、誤使用などによる破損や事故に対して弊社は責任を負いませんのでご了承下さい。 ● 本説明書は、車両のサービスマニュアルに載っている内容は割愛し、車両整備の基礎知識と経験のある方を対象に編集、解説しております。取り付けに不明点がある場合、不確実な作業は事故、破損の原因になるのでお止め下さい。 ● エンジン始動時には騒音や発火、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、周辺へのマナーと配慮を心掛けて下さい。 ● 車両への乗車前には、日常的に整備、点検を実施し、車両の各部や取り付け部品とその周辺に異常や破損、劣化が無い事を確認して使用して下さい。
注意	● 車両整備に関する詳細は、車両のサービスマニュアルを参照して下さい。 ● 他社製品との同時使用による、組み合わせや取り付け相性、機能、性能などは未確認です。 ● 車体への改造や、転倒歴のある車両には取り付けできない場合が有ります。 ● 製品の開梱時や製品の取り扱い時には、部品の端部や突起、バリなどがある場合があります。作業の際は保護手袋を使用するなど十分に注意して下さい。 ● 耐熱黒塗装は素材が鉄製の場合、将来にわたって保護効果を保証するものではありません。経年劣化、塩分・薬剤の付着、急激な熱入れ等、場合よっては錆、腐食が発生することがあります。錆、腐食等を発見した場合はタッチアップを推奨します。
高温注意	● マフラーは、非常に高温になります。作業を行う際は、必ずエンジン、マフラーなど各部が冷えた状態を確認してから作業してください。接触によるやけどや、衣服、可燃物などに注意して下さい。

新規マフラー取り付け後の始動時の注意・表面処理の種類別

- エンジン始動前にはパイプ部分が汚れていないか十分に確認してからエンジンを始動させて下さい。ムラやシミの原因になります。
- またサイレンサーエンブレムに保護フィルムが付いている場合は、フィルムを剥がしてから始動して下さい。剥がさないとフィルムが焦げ付きます。
- エンジン始動後は、吸音材の慣らしのため 15 分程度は慣らし運転を行って下さい。この時、白い排気ガスが出ることや、サイレンサー下部の水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

黒塗装の場合

- 有機溶剤系での脱脂を行なわないでください。塗装を痛め、剥がれや溶解の原因となる恐れがあります。
- 汚れが付着した場合は中性洗剤で洗って下さい。
- エンジン始動後はいきなり高回転まで回さず、塗装の定着を目的にアイドリングで暖機運転を行って下さい。
- 急激に熱を加えますと塗装内の揮発成分が沸騰し、気泡状の膨れや、割れ、剥がれの原因となります。
- 始動直後はマフラー表面より白煙が上がりますが、これは塗料がマフラーに定着する際に発生するもので、塗料が完全に定着するまで（白煙が上がらなくなるまで）５分～１０分程度（季節、気温による）、熱を加えその後、一度自然冷却して下さい。
- この後の走行も 50km 程度までは慣らし運転を行って下さい。

メッキの場合

- マフラーに錆のような黄褐色のシミが付いている事がありますが、これは錆ではなくメッキ処理をする際の薬品の残りです。製品出荷時に十分管理しておりますが、万が一このメッキ液が付いている場合は市販のパーツクリーナー等で洗浄してご使用下さい。

ステンレス、チタンの場合

- エンジン始動前にマフラー表面を十分に脱脂して下さい。（ガソリン・灯油は不可）汚れが焼き付き、取れなくなります。
- 走行後のマフラーに付いた油分や汚れは市販のパーツクリーナー等を使用して取り除いて下さい。研磨による除去は表面にムラを発生させる原因となりますのでご注意して下さい。
- 素材の地肌をそのまま使用した製品です。素材の特性上、排気ガスにより高温になる部分には焼け色が発生します。

アルミの場合

- モンスターサイレンサーなど一部のアルミ製品は、アルミ本来の風合いを楽しんで頂く為に表面に研磨加工以外のメッキ、コーティング処理をしておりません。適切にメンテナンスをすることでアルミ本来の風合いを保つことが出来ます。
- 土や鳥の糞、虫などの汚れが付着した場合、中性洗剤で洗浄した後に、流水でよく洗い流し柔らかいウエスで拭き取って乾燥させて下さい。
- 油分が付着した場合、パーツクリーナー等をウエスに染み込ませ、優しく拭き取って下さい。
- サイレンサー内部に水分を貯めたままにしていると腐食の原因となる場合があります。できるだけ短距離走行は避け、サイレンサー内部を乾かすようにして下さい。
- 表面に軽い腐食がみられる場合、3M 社製、スコッチブライト（800 番相当）の研磨パッド等などを使用し、研磨目に沿って磨いてください。軽い傷を消す事も出来ます。
- アルミ素材のため酸化・接触・電食等による腐食や、見た目の変化等の経年劣化は保障対象外となります。

サイレンサーのお手入れ

- 汚れは中性洗剤で洗って下さい。油分が付着しているなど、汚れたまま走行しますと変色する事があります。
- シンナーや有機溶剤はエンブレムの塗装を侵しますので使用しないで下さい。
- 吸音材、消音機構部材は使用環境や走行状況により耐久性が異なります。ご使用の際は出来る限り短時間のエンジン始動を避け、始動の熱でマフラー内部に溜まった水分を蒸発させるよう心掛けて下さい。

マフラーのセッティングについて

- モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
  したがってマフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
- マフラー交換に伴う性能悪化が見られる場合は、まずエアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

ＪＭＣＡについて

全国二輪車用品連合会（ＪＭＣＡ）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導のもと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。
「ＪＭＣＡ認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、 安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

メンテナンスについて

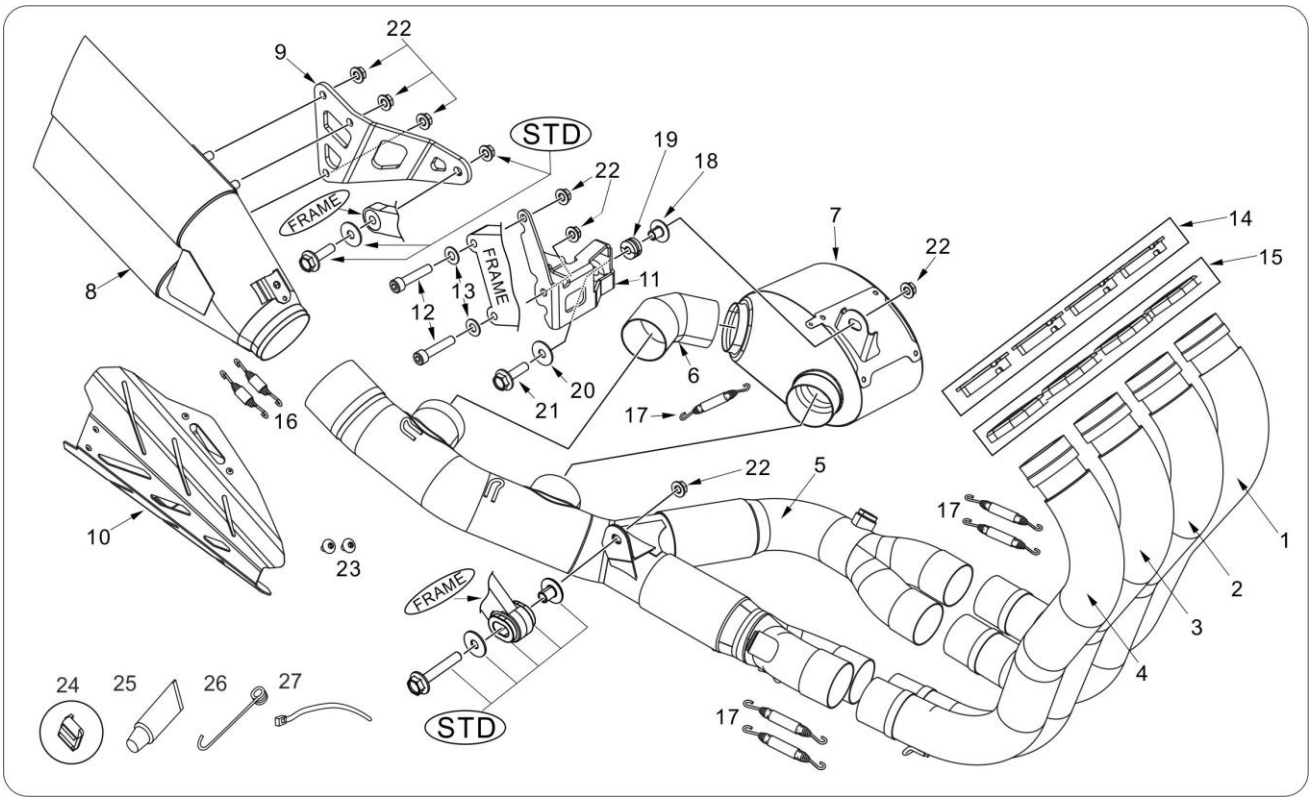
マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販の中性洗剤等をご使用下さい。
車検の際は、付属の「排出ガス試験結果証明書」または「純正触媒使用確認書」が必要となりますので持参してください。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。
本説明書は、製品の譲渡時には部品と同様に、お渡し引継ぎください。
製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。
記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
WEBSITE　https://www.moriwaki.co.jp
お問い合わせ先：info@moriwaki.co.jp

MORIWAKI CROSS SHORT TWIN(BLACK/SUS)
HONDA ’18-20 CB1000R

Parts No.　01810-401S5-00 / 01810-441S5-00



【構成部品表】　　※図中の「STD」とは車両純正部品です。取付けに再使用します。

No	部品番号	商品名	入数	単価(税込)	No	部品番号	商品名	入数	単価(税込)
1	18110-401S5-00	フロントパイプ#1 BLACK	1	¥17,050	11	18251-401S5-00	サブサイレンサーマウントステー	1	¥4,180
	18110-441S5-00	フロントパイプ#2 SUS			12	970000-08045	キャップボルト8X45	2	¥138
2	18120-401S5-00	フロントパイプ#2 BLACK	1	¥17,050	13	993000-08018	ワッシャーSUS	2	¥61
	18120-441S5-00	フロントパイプ#2 SUS			14	18113-H01G1-00	ジョイントカラー38	4	¥1,100
3	18130-401S5-00	フロントパイプ#3 BLACK	1	¥17,050	15	18112-401S5-00	ｴｷｿﾞｰｽﾄﾌﾗﾝｼﾞ	4	¥2,200
	18130-441S5-00	フロントパイプ#3 SUS			16	18335-90607-20	スプリングショート	2	¥572
4	18140-401S5-00	フロントパイプ#4 BLACK	1	¥17,050	17	0A02-08709-KK11	スプリングロング	5	¥759
	18140-441S5-00	フロントパイプ#4 SUS			18	0312-11250-F010	グロメットカラー	1	¥352
5	18210-401S5-00	テールパイプ BLACK	1	¥145,750	19	0312-17250-DR00	グロメットラバー	1	¥308
	18210-441S5-00	テールパイプ SUS			20	030A-08251-5100	ワッシャー8mm	1	¥77
6	18250-401S5-00-130	ジョイントパイプ BLACK	1	¥5,500	21	973010-08030	フランジボルトM8X30	1	¥275
	18250-441S5-00-130	ジョイントパイプ SUS			22	982010-08000	ﾌﾗﾝｼﾞﾅｯﾄ M8	7	¥110
7	18250-401S5-00	サブサイレンサー BLACK	1	¥52,800	23	97E080-06010	ﾄﾙｸｽﾄﾗｽﾍｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄM6X10	2	¥110
	18250-441S5-00	サブサイレンサー SUS			24	18293-MN0-000	ラバー、プロテクター	1	¥165
8	18910-401S5-00	サイレンサー BLACK	1	¥95,150	25	860-806-0600	液体ガスケット ME30	1	¥660
	18910-441S5-00	サイレンサー SUS			26	3A32-00000-00T0	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌﾟﾗｰ	1	¥220
9	18950-401S5-00	サイレンサー、ステー	1	¥6,820	27	90650-35150-10	ｾﾙﾌﾛｯｸﾊﾞﾝﾄﾞ3.5x150 BK	1	¥44
10	18940-401S5-B0	エキゾーストガード BLACK	1	¥12,650	排ガス証明書				
	18940-401S5-00	エキゾーストガード WHITE			取扱説明書				

【製品仕様】

製品名	MORIWAKI CROSS SHORT TWIN (BLACK/SUS)	インジェクション	純正状態
適合機種	Honda 18-20 CB1000R	オイル交換	本製品脱着不要
型式	ホンダ・2BL-SC80	フィルター交換	本製品脱着不要
排気音量	近接：97dB/加速：82dB	JMCA認定番号	JMCA3020007101
	近接相対値規制値：102dB	製品重量	8.9kg

※規制値についてはJMCAウェブサイトをご確認ください。　URL ： http://jmca.gr.jp/

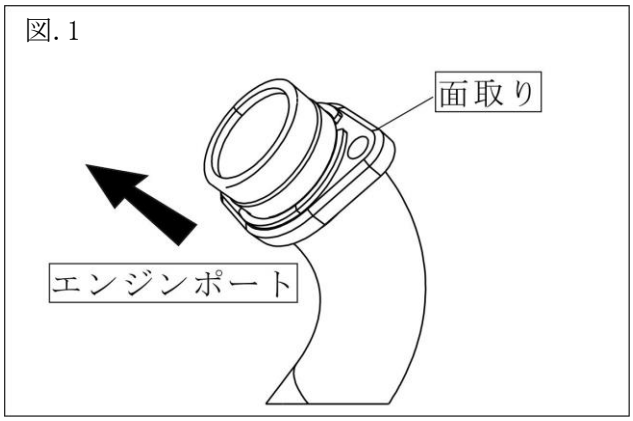
【必要工具】

・ソケットレンチ：10mm,12mm　・ユニバーサルジョイント　・エクステンションバー
・ヘキサゴンレンチ：6mm　・ラチェットメガネ又はラチェットコンビ：12mm
・スパナ：17mm（又はフレアナットソケット 17mm）　・トルクスレンチ：T30
・軍手　・ウエス　・ネジロック剤　・脱脂洗浄剤　・モリワキレーシングメンテナンスマット等

⚠注意

① 本説明書は、基本的な車両整備の知識や技能のある方を対象に解説しております。また車両のサービスマニュアル書も参照の上、作業が必要となります。
② 作業する際には、エンジンを十分冷ましてから行なって下さい。
③ エンジン始動による騒音や発熱、排気ガスでの中毒や汚染など、ご自身や周囲への安全の確保と、マナーと配慮を心掛けて下さい。
④ 走行時に脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けは十分確認して下さい。
⑤ 走行中振動によりボルト類が緩む事がありますので、定期的に点検と整備を行って下さい。特に転倒後には、緩みやすくなりますので必ず点検して下さい。
⑥ 車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。改造による取付け不良や破損等の返品はお受け出来ませんのでご了承下さい。
⑦ 転倒歴のある車両では、取付ける事が出来ない場合があります。確実に取付ける事が出来ない場合には、本製品を使用しないで下さい。
⑧ 取り付け作業は必ず清潔な手袋などを着用し、マフラーへ手の油分が付着しないように注意してください。

図.1



【純正部品の取り外し】

車両のサービスマニュアルの手順に沿って、純正マフラーとO_2センサー、左側のグロメットラバーを取り外して下さい。
※純正O_2センサーは本製品取り付けに再使用します。配線の通り道の写真を撮っておくことをお勧めします。
※部品構成図中の「STD」の印がある部品は本製品取り付けに再使用します。
※純正マフラー、サイレンサーは重量があるので取り外した際の落下などにはご注意ください。

【取付け準備】

① 図.1,2を参考にフロントパイプ（部品表①～④）へEX.フランジ（部品表⑮）、ジョイントカラー３８（部品表⑭）の順に部品を取り付けます。EX.フランジの面取り部がエンジンポート側へ向くように取り付けます。

② エンジンポートのマフラーガスケットを確認し、損傷が激しい場合は、新品への交換を推奨します。本製品には付属しておりません、別途ご準備ください。
（純正部品：ｶﾞｽｹｯﾄ、ｴｷｿﾞｰｽﾄﾊﾟｲﾌﾟ 18291-MN4-920）

③ 各パイプの差し込み口の内側に、液体ガスケットを薄く塗ります。(図.3,4)

④ 部品図を参考にテールパイプ（部品表⑤）、ジョイントパイプ（部品表⑥）、サブサイレンサー（部品表⑦）組立してスプリングロング（部品表⑰）で固定します。

図.2

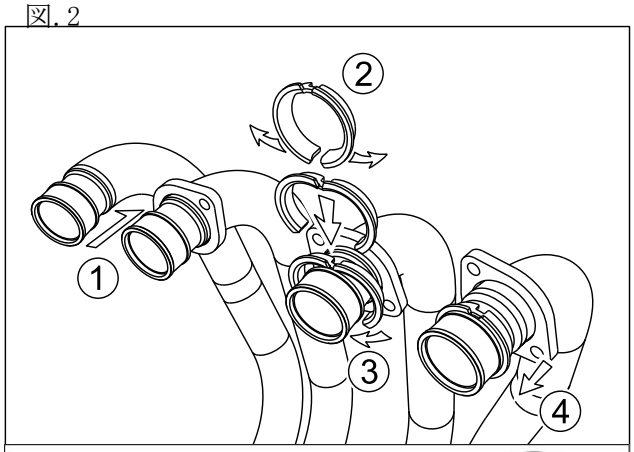
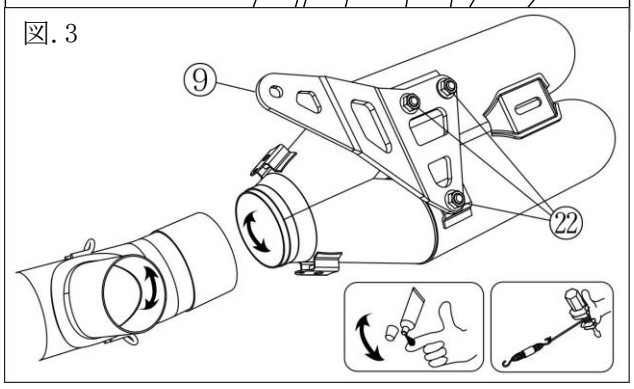


図.3



⑤　サブサイレンサーマウントステー（部品表⑪）へグロメットラバー（部品表⑲）、グロメットカラー（部品表⑱）を組み込みます。（構成図参照）

⑥　サイレンサー（部品表⑧）へ、サイレンサーステー（部品表⑨）をフランジナットM8(部品表㉒)を使用して仮止めしておきます。（図.3）

【製品の取り付け】

① 先の手順で組立したサブサイレンサーマウントステーを車体へ取り付けます。

・右ステップを固定している純正ボルトを取り外し、キャップボルトM8X45(部品表⑫)、ワッシャーSUS（部品表⑬）と交換します。

締め付けトルク（22[N.m]/2.2[kgf-m]）

・図.5　を参考にピボットの裏側からサブサイレンサーマウントステーを、フランジナットM8（部品表㉒）を使用して取り付けます。

締め付けトルク（22[N.m]/2.2[kgf-m]）

※締め付け時はボルト側に十分にトルクかけながらナットへトルクをかけます。

※工具のアクセスできる場所が限られます。上部ナットはピボットの前方からアクセスします。

② フロントパイプ#1～4(部品表①～④)をSTDエキゾーストフランジナット（STD）を使用して仮止めします。

※ナットの締め込み過ぎに注意してください。

③ 先の手順で組立したテールパイプをフロントパイプに差し込み、同時にテールパイプ中間部のステーを、車体側ピボット下のステーへ仮止めします。グロメット（STD）、グロメットカラー（STD）、ボルト（STD）、ワッシャー（STD）フランジナットM8(部品表㉒)を仕様します。（図.6参照）

仮止めしたらフロントパイプとテールパイプをスプリングロング（部品表⑰）で固定します。

④ サブサイレンサーのステー部を先の手順で取り付けしたサブサイレンサーマウントステーへ、フランジボルトM8X30（部品表㉑）、ワッシャー8mm（部品表⑳）、フランジナットM8(部品表㉒)を使用して仮止めします。（図.5）

⑤ サイレンサー(部品表⑧)を仮組したテールパイプへ差し込み、ステップ後部のステー部に、STDボルト、ワッシャー、ナットを使用して仮組します。次に、スプリングショート(部品表⑯)で固定します。(図.7参照)

図.4

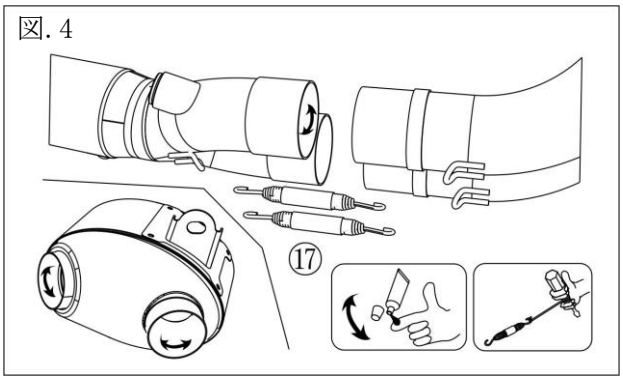


図.5

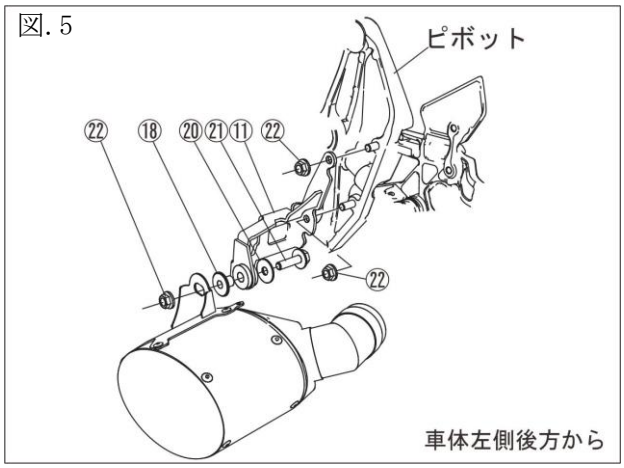


図.6

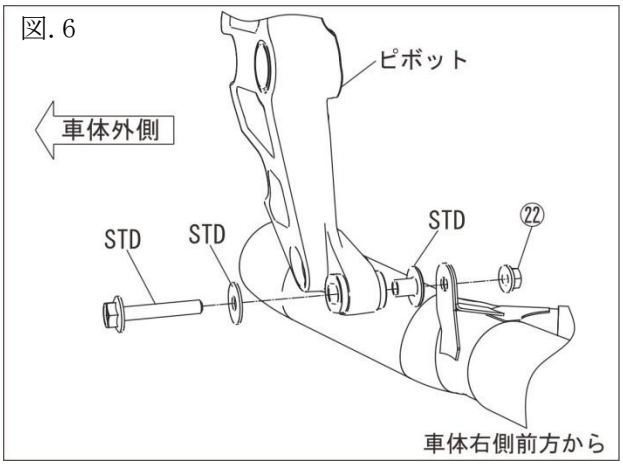
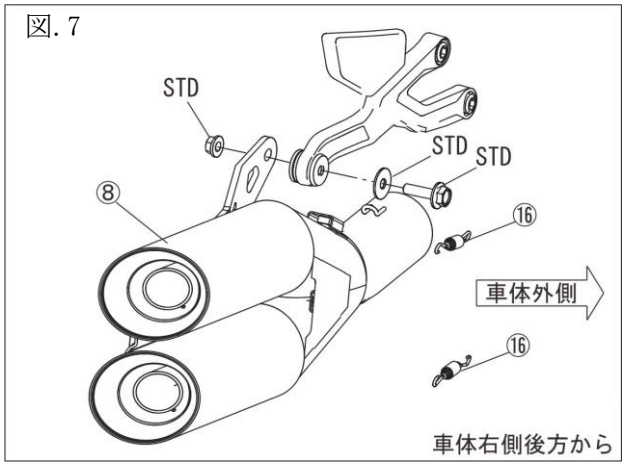
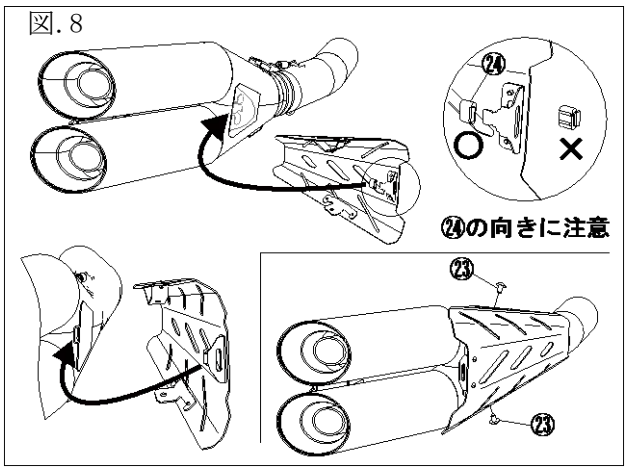


図.7



⑥ テールパイプへ STD O²センサーを取り付けてカプラーを接続します。
※右側ケーブルのたるみを適切に調節して、付属のセルフロックバンド（部品表㉗）で固定してください。

図. 8



⑦ 図.8 を参考にエキゾーストガード（部品表⑩）にラバー（部品表㉔）を取り付けします。 ※ラバーの向きにご注意ください。
トルクストラスヘッドボルト M6X10（部品表㉓）で取り付けます。

※ネジロック剤を使用してください。

※マフラーとの取り付けクリアランスはギリギリの設定となっております。十分に養生をしながらの作業をお勧めします。

※テールパイプと干渉しないようクリアランスを調整しながらボルトを締め込みます。

⑧ ボルト、ナット類の本締めをします。
※以下の順序で本締めしていきます。

・フロントパイプ：エキゾーストフランジナット, 7mm	M7 締め付けトルク(16[N･m] / 1.6[kgf･m])
・テールパイプ：ボルト 8mm	M8 締め付けトルク(22[N･m] / 2.2[kgf･m])
・サブサイレンサー：ボルト 8mm	M8 締め付けトルク(22[N･m] / 2.2[kgf･m])
・サイレンサー：ボルト、ナット 8mm	M8 締め付けトルク(22[N･m] / 2.2[kgf･m])
・O_2センサー	M12 締め付けトルク(24.5[N.m]/2.5[kgf-m])
・エキゾーストガード：ボルト 6mm	M8 締め付けトルク(10[N･m] / 1.0[kgf･m])

【取り付け仕上げ】

① 各ボルト、ナット類の締め忘れは無いか再確認し、エンジン始動前にマフラーの汚れを除去してください。塗装製品への溶剤系脱脂剤は塗料を溶かす成分の物も有りますので、使用しないでください。
② エンジンを始動します。
③ エンジンを始動後、各部の排気漏れが無い事を確認します。

エンジン排気ポート部分からの排気漏れがある場合は、今一度各部の締付けを緩め、エンジンポートに的確になじむように締付けなおします。

エンジン始動直後に
塗装製品のマフラーの塗装をなじませるため、約５分間程度のアイドリングを行って下さい。
なじむ前に、急激な高温を与えると、耐熱塗装の塗膜が剥離する場合が有ります。

エンジン始動後 15 分程度は慣らし運転を行って下さい（吸音材の慣らし）。この時、白い排気ガスや、サイレンサーの水抜き穴から水蒸気等が出る場合がありますが、性能上問題ありません。

【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。
マフラー装着にともなうインジェクションなどのセッティングの必要はありません。
マフラー交換に伴う性能悪化が見られる様であれば、エアクリーナーやプラグ等を整備してもう一度確認して下さい。

【JMCA について】

全国二輪車用品連合会(JMCA)は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省の指導もと不法製品一掃とその製品に歯止めをかける活動をしています。
「JMCA 認定プレート」にて認可されたマフラーは、(財)日本車輌検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をも合格した製品です。

【メンテナンスについて】

マフラーボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取り付け不良などを定期的に点検して下さい。
走行による汚れは、市販の中性洗剤等をご使用下さい。
脱脂剤は、塗装製品の、塗料を溶かす成分の製品も有りますので、使用できません。

車検の際は、付属の排出ガス試験結果証明書が必要となりますので持参して下さい。

本説明書は保管し、メンテナンス等の機会に活用するようにして下さい。
製品上の問題点、取り付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。
記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。

株式会社モリワキエンジニアリング
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町 6656-5
Tel 059-370-0090 Fax 059-370-0152
Home Page http://www.moriwaki.co.jp